

『伊藤圭介略年表』

時代	西暦	和暦	年齢	月	事項
享和	1803	享和3	1	1月	名古屋呉服町で生まれる。
文政	1820	文政3	18	5月	医業を開き一人立二段席に列する。
	1821	文政4	19		京都に赴き、藤林泰助から洋学を学ぶ。
	1826	文政9	24	2月	宮宿でシーボルトに会う。
	1827	文政10	25	8月	名古屋を出立。長崎でシーボルトに師事し、博物学等を学ぶ。
	1829	文政12	27	10月	『泰西本草名疏』を出版する。
弘化	1847	弘化4	45	11月	御用人支配医師に列せられる。
嘉永	1850	嘉永3	48		自宅に種痘所を設ける。『表忠詩鈔』を出版する。
安政	1854	安政元	52	2月	新屋敷御様場で人体解剖の鑑試をつとめる。
	1858	安政5	56	2月	名古屋朝日町に旭園を開設する。
	1859	安政6	57	9月	幕府から蕃書調所物産方へ出役を命じられ、江戸へ出る。
文久	1863	文久3	61	12月	開成所(旧蕃書調所)を辞任する。
元治	1864	元治1	62	8月	前藩主慶勝の征長総督としての西行に従う。
明治	1870	明治3	68	10月	明治政府より大学への出仕を命じられ、12月東京へ移住する。
	1873	明治6	71	4月	文部省編書課出仕を仰せ付られ、『日本産物志』の編纂に従事する。
	1874	明治7	72	2月	三男謙の編次で『日本植物図説』草部イ初篇を出版する。
				9月	東京大学理学部員外教授、第1回内国勸業博覧会の審査官となる。
	1875	明治8	73	6月	小石川植物園への時々出仕を命じられる。
	1879	明治12	77	3月	東京学士会院会員に選ばれる。この年『日本産物志』信濃部刊行。
	1880	明治13	78	11月	スウェーデン国王立学士院より銀牌、銅牌を贈られる。
	1881	明治14	79	3月	第2回内国勸業博覧会の審査官を命じられる。
				7月	東京大学教授に任じられる。12月『小石川植物園草木図説』巻1刊行。
	1882	明治15	80	4月	上野不忍生池院で八十賀寿盃筵会を開催。
	1886	明治19	84	3月	東京大学を非職となる。
	1888	明治21	86	5月	我が国初の理学博士の学位を授与される。
	1892	明治25	90	7月	愛知教育博物館で「理学博士伊藤圭介翁九十賀寿博覧会」が開催され参加。
	1898	明治31	96	10月	墓参のため帰省。名古屋で九老尚齒会が行われる。
	1901	明治34	99	1月	圭介没(享年99歳)。

※参考文献: 杉本勲『伊藤圭介』吉川弘文館、1960年(新装版1988年)